

首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回報告会

日時：令和5年3月23日（木）13：30～16：30

場所：沖縄県立博物館・美術館講堂

議事次第

1. 開会挨拶

内閣府沖縄総合事務局 首里城復元整備推進室 室長 大石 智弘

2. 首里城正殿復元の進捗状況と今後の予定

内閣府沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所長 平塚 勇司

3. 専門分野からの報告

1) 「平成の正殿」と「令和の正殿」の違いについて－総括的な所見－

琉球大学名誉教授 高良 倉吉

2) 首里城火災の教訓と文化財防災の課題

東京理科大学研究推進機構総合研究院教授 関澤 愛

3) 首里城を火災から守っていく計画

早稲田大学名誉教授 長谷見 雄二

4) フランス海軍撮影首里城正殿写真の令和復元への寄与

京都大学名誉教授 伊従 勉

5) 「正殿欄干親柱の獅子像の検討」、「玉座御床の「黄塗り」技法」ほか

沖縄県立芸術大学名誉教授 安里 進

6) 技術的な面での塗装について

漆芸家、重要無形文化財「蒔絵」保持者 室瀬 和美

7) 首里城南殿の大広間について

沖縄県立博物館・美術館館長 田名 真之

休憩

4. 質疑応答

5. 閉会